

# 京都秋季選手権水泳競技大会【B・Cクラスの部】 2次要項

(一社) 京都水泳協会競技委員会

## 1. 新型コロナウイルス感染拡大予防対策について

本大会は、(公財)日本水泳連盟が定める「水泳競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」および(一社)京都水泳協会が定めるガイドラインに沿って競技会を行う。

- (1) 詳細は、京都水泳協会 HP 掲載の対策方針等を参照のこと。
- (2) 当日朝に提出する書類を作成し、忘れずに提出すること。
- (3) 館内では競技を除き、常時マスクを着用すること。
- (4) 各自の競技終了後、すみやかに帰宅すること。
- (5) 会場内の入場は出場する選手、引率責任者および学校が認めたコーチ、競技役員のみ許可する。保護者等一般来場者の入場及び応援を禁止とし、無観客大会とする。

## 2. 競技について

- (1) 本競技会は、2020年度公益財団法人日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- (2) 競技進行は、原則タイムスケジュールに従って行う。
- (3) 競技は一部のみ予選・決勝方式(50m、100m、200m個人メドレー)にて実施する。  
これ以外の種目は、タイムレース決勝方式にて実施する。
- (4) 全競技、8レーンで行う。
- (5) 招集は、競技開始20分前から行う。招集所で水着、テーピング、商業ロゴマークの確認を行う。  
なお、通告にて招集開始を案内する。
- (6) 競技を棄権する場合は、所定の届出用紙にて当日午前9時30分までに大会本部に届け出ること。  
午前9時30分以降は、棄権料3,000円を添えて棄権届を提出すること。なお、無断で棄権した場合は、罰金3,000円を別途徴収する。
- (7) 決勝を棄権する場合、その予選競技終了後1時間以内に棄権料3,000円を添えて提出すること。
- (8) 本大会はレーン紹介を行わない。
- (9) ゴールタッチは、タッチ板の有効面に確実にタッチすること。
- (10) 50m～200mの自由形・平泳ぎ・バタフライ・個人メドレー各種目は、オーバーザトップ方式を採用する。
- (11) 背泳ぎにおいて、バックストロークレッジを使用する。
- (12) 競技成立後は、自レーンより退水すること。
- (13) 本大会は SEIKO システムを使用する。詳細については、「8. SEIKO システムについて」を参照すること。

## 3. 表彰について

- (1) 本年度、本大会での表彰式は実施しない。
- (2) 各競技3位までの入賞者には、賞状と副賞のメダルを授与する。
- (3) 賞状・副賞の受け取りは、競技終了後、大会本部後方(ウォータースライダー付近)で行う。

## 4. 全体スケジュール

- (1) 全体の競技予定時間は以下の通りとする。

日時	区分	出場選手 入場時間	W-up	公式スタート	競技 開始時刻	競技終了 予定時刻	閉門時刻 (予定)
11月15日(日)	1班	7時20分	7:30~8:35	8時00分	10時00分	15時55分	16時45分
	2班	7時40分	8:40~9:45	9時10分			

- ① ウォーミングアップは2班に分けて行う。
  - ③ 1班と2班の入れ替えを行う。1班は8時35分に全員プールよりあがること。
  - ④ 場所取りは全チームを対象として行う。場所取り入場後、1年班はすみやかに開場(選手入場)する。
  - ⑤ 2班は1班のウォーミングアップ開始後、時間をおいての入場とする。
- (2) 開門に先立ち、控え場所の場所取りは各チーム代表者(コーチ等)1名のみ、2階正面入口(阪急西京極駅方面のスロープ側)からの整列入場を行う。なお、入場整理員の指示には必ず従うこと。

## 5. プールの使用について

### (1) 25m短水路プール

- ①水深は1.4mに設定する。
- ②練習は各班の指定時刻までとする。
- ③1レーンは、常時ダッシュレーンとする。ただし、スタート側からの一方通行とする。  
公式スタート練習は、1～2レーンにて実施する(人数により、順次3レーン以上を増設する場合がある)。
- ④ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止する。
- ⑤公式スタート練習は、公式スタート開始予定時刻より30分間とする。
- ⑥各レーンのスタート台右側から入水せず、左側より足から入水すること。

## 6. 会場の使用について

### (1) 選手控え所は、2階選手控所(枠内)、1階スタジオとする。

1階プールギャラリー(エレベーター前)は、招集所とする。

なお、控え場所およびウォーミングアップの班については以下の通り指定する。

2階エントランス左側 (エレベーター前)	2階エントランス右側 (長水路プール入口側)	1階スタジオ
くずは男山、ナカジマSC、ルネサンス山科、京都FSC、コパン宇治、コパソサタウン、セントラル太秦、京都イリアス、ゆめパレア 計9チーム	京都踏水会、NSI 福知山、アテイン京都、YURISS、サンスポーツ、ビートまいづる、イトマン京都、アイエム舞鶴、長岡S・S、綾部SS 計10チーム	スイトピア、アクオン、コナミ伏見、HOS OGURA、星の子SS、城陽SS、KSCタナベ、ACE、コナミ八幡、NSI マナティ 計10チーム
W-up : 1班	W-up : 2班	W-up : 1班

※場所取りは1名のみとする。

### (2) 2階観客席は使用禁止とする。

また、8レーン側プールサイドにコーチ席を設置する。

### (3) 選手のプールサイドでの応援はできない。

### (4) プールサイドは、選手・コーチ等の上履き(シューズ・サンダル・スリッパ等)の使用を禁止する。必ず素足になって移動すること。

※大会役員・競技役員は、靴底が白い上履きに限り使用を許可する(スリッパの使用は禁止する)。

### (5) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての取り扱い規定」を遵守すること。

### (6) 選手・付添エリアには、一般は立ち入ることができない。

### (7) 更衣室のロッカーの使用はできない。控え場所としての使用及び飲食は禁止する。

### (8) 更衣室の荷物は、競技終了後は必ず持ち帰ること。

※置き荷物は、忘れ物として扱う。また、残った忘れ物は大会終了より2週間程度保管した後、処分する。

(忘れ物は、大会本部にて一定期間保管する。)

### (9) 会場設置のコンセントの使用を禁止する。使用が判明した場合、該当使用機材を没収する。

### (10) 会場のゴミ箱を使用せず、各自持ち帰って処理すること。

### (11) 大会終了後、使用した控所の清掃にご協力ください。なお、全体の後片付けにあたっていないチームは、自団体控所の清掃終了後、すみやかに退出すること。

### (12) 大会終了後、館外でのミーティングは禁止する。

### (13) 京都アクアリーナの営業開始時間(9:00)より前の、1階フロアへの立ち入りとその階のトイレの使用並びにエレベーターの使用を禁止する。同時間までのトイレは、選手はサブプールにあるトイレを使用すること。また、1階プールギャラリーを控え場所とするチーム(選手・チーム関係者)の出入りは、サブプール更衣室側から行うこと。

## 7. 注意事項

### (1) 盗難防止のため、貴重品の保管については、各選手・監督の責任において管理すること。

### (2) 競技役員用の駐車場は、競技役員として出席し、事前に許可された関係車両のみとする。なお、駐車の際は駐車許可証を外部より確認できる位置に置くことを条件とする。駐車許可証のない車両があった場合は、当該関係団体への指導を行う。 ※出場団体のバスでの来場・駐車については認めない。

(3)会場におけるトラブルが発生した場合、当該者の関係所属団体先を確認の上、当該引率責任者による事後対応を行うこと。

#### 8. 保護者等への注意事項の連絡について

(1)出場団体の責任者は、以下の点を事前に選手・保護者等に連絡すること。

①選手送迎に関する「京都アクアリーナを使用する競技会での送迎等について」を事前に確認すること。

(2)盗撮、不審者対応について

近年、各種競技大会において日本水泳連盟や京都水泳協会の目的を逸脱した営利目的・わいせつ目的等によるビデオ・写真などの撮影が行われ、インターネット・雑誌その他の媒体に掲載、販売される事態が散見されております。京都水泳協会としましては、競技大会の円滑な運営と選手保護・育成のため、撮影に関する一定のルールを設けております。

①撮影対象が競技会方針と異なると思われる場合は、記録内容の確認を求めることとする。

事案によっては、警察に引き継ぐこともある。

②不審と思われる行為を受けたり、見かけられたりした場合は、近くの競技役員まで申し出て下さい。

#### 9. SEIKO システムについて

(1)SEIKO 社の全自動計時システムをタッチ板・スタート台等で使用する。

(2)スタート台の斜角度は10° とする。

(3)スタート台にはスターティングブロックを設置する。本大会はスターティングブロックの調整を許可する。

なお、使用にあたっては各自の責任において調整すること。

(4)スターティングブロック部分の固定は確実にすること。固定せずに使用して破損した場合は、実費相当額を負担すること。

(5)本大会は、バックストロークレッジを使用する。使用しない場合は、各レーンの競技役員に申し出ること。

#### 10. 結果速報について

(1)本大会では、超速システムを運用する。スイムレコードモバイル会員は結果を確認することができる。

(2)競技の様子を、大会期間中のみリアルタイム動画配信システムにて配信する。

(大会当日、京都水泳協会 Web サイトにリンクを掲載する。)

(3)会場内のネットワーク環境等により、途中で結果および動画配信を中断することもある。

上記項目についての選手への事前指導、保護者の方への事前連絡について、各チームの代表者・引率責任者・担当者が責任をもって周知徹底すること。

なお、使用状態が悪い場合、今後の会場使用ができなくなることもある。十分に注意すること。

以上